

令和2年度 第23回 地方独立行政法人長崎市立病院機構 理事会

【議事抄録】

- 1 日時 令和3年2月25日（木）13時30分から15時20分
- 2 場所 長崎みなとメディカルセンター 醫聖ホール
- 3 出席者 12名
 - 理事会組織構成役員出席者数 9名
片峰理事長、門田副理事長、増崎副理事長、福崎理事、森理事、
荒木理事、三藤理事、草野理事（醫聖ホール）
原理事（リモート）
 - 監事 2名
白石監事、有田監事
 - 経営戦略アドバイザー 1名
廣瀬弥幸氏（リモート）
- 4 審議事項1 令和2年度 第22回理事会議事録の確定
2月10日に開催した第22回理事会の議事録について、事務局案に対して特に異議はなく確定した。
- 5 審議事項2 会計規程の一部改正及び契約規程の全部改正について
担当課長より、会計規程の一部改正及び契約規程の全部改正の案が、資料に基づき説明が行われ、案の通り承認された。
- 6 報告事項1 経営状況（1月）について
事務局より、令和3年1月の経営状況について、資料に基づき報告が行われた。
1月はコロナ対応と救急受入れを中心に行った結果、経営的には振るわなかったが、救急車とドクターヘリの受け入れ数は今年度最高の395件であったこと、期末までの間に経営に大きな影響を及ぼす事象がなければ、今後の空床補填等の補助金収入を見込めば最終的な収支は黒字となる見通しであることが説明された。
- 7 報告事項2 監事監査の指摘事項への対応状況について
事務局から、臨時監事監査の指摘事項への対応状況について、資料に基づき報告が行われた。11項目の指摘について、おおむね令和2年度中、遅くとも令和3年度の前半

には対応を完了する見込みであることが説明された。なお、報告の中で指摘事項 2 の対応時期は「令和 2 年度中」から「令和 3 年度の中で」に訂正された。

8 報告事項 3 新型コロナワクチン接種体制について

担当医師より新型コロナワクチン接種体制について、資料に基づき報告が行われた。ファイザー社製のワクチンで約 1,000 人への接種を想定し計画立案。すでにワクチン接種のリハーサルも実施しており、反省を踏まえ 2 回目のリハーサルが行われることが説明された。

9 報告事項 4 新型コロナウイルス感染症疑い患者受入協力医療機関の指定について

事務局から、2 月 9 日付けで長崎県から疑い患者の受入れ協力医療機関としての指定を受けたことが報告された。指定期間は遡って令和 2 年 12 月 19 日から令和 3 年 3 月 31 日までであること、受入れ対象病所数は、フェーズ 2 において 8 床であることの説明が行われた。

10 報告事項 5 医師の時間外勤務（1 月）について

担当理事から、医師の働き方改革タスクフォースの取り組み結果について、資料に基づき報告が行われた。1 月の超勤 80 時間超えは 12 名程度であったこと、今の体制ではタスクフォースの取り組みがあったとしても 10 数名は超勤 80 時間超えが出てしまうことから、医師業務のタスクシフトやタスクシェアが解決の鍵となることが説明された。

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、閉会を宣した。